

●三野地区データ

(令和元年9月末現在)

区 分	人 数	区 分	世帯・割合
人 口	4,337 人	世 帯 数	1,914 世帯
14歳以下	419 人	一人暮らしの高齢者世帯数	207 世帯
15～64歳	2,323 人	高齢者のみ世帯数	194 世帯
65歳以上	1,595 人	高 齢 化 率	36.8 %
75歳以上	924 人	後期高齢化率(75歳以上)	21.3 %
社会資源			
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校(1校) ・公民館・分館(5箇所) ・病院 (4箇所) ・道の駅(1箇所) ・消防団(12箇所) ・小学校(2校) ・児童クラブ(2箇所) ・体育館(1箇所) ・介護施設(4箇所) ・児童福祉サービス事業所(1箇所) ・保育所・認定こども園(2箇所) ・駐在所(1箇所) ・防災公園(1箇所) ・介護サービス事業所(8箇所) 			
地域のイベント			
<ul style="list-style-type: none"> ・三野福祉まつり ・三野文化まつり ・三好長慶武者行列まつり ・三野フェスタ ・お天王はん市、秋祭り ・みの元気まつり など 			

●住民アンケート・座談会を受けて

三野町における住民アンケート調査の中で「どのような活動の充実を期待するか」に対して、「ふれあい・いきいきサロン」「見守り活動」「自主防災活動」が上位に挙げられており、サロン活動や・見守り活動が広く住民に認知されてきたように感じています。しかし、座談会の中では、マンネリ化や参加者の減少などの意見が聞かれ、内容の充実が必要となっています。

また、災害や緊急時の避難について「避難できる」と回答した人は約 50%であり、半数の人は「避難できない」もしくは「分からない」と回答しています。座談会では「避難の仕方が分からない」「災害に対する意識が低い」などの意見が多くあり、防災に対する日頃の準備が不十分であることが分かりました。

地域福祉活動計画に関する問いかけでは「地域の活動や組織体制が変わった」と回答した人が前回調査の約 40%から今回は約 60%に増えており、活動計画が地域事業に良い影響を与えていることを感じています。

重点事業 1

「地域の絆づくり」の推進

- 地域での課題
 - ・世代間交流が少ない
- 課題解決に向けての目標
 - ・居場所、つどいの場の充実
- 取組計画

取組項目	内容
サロン・各種行事等の継続と充実	地域に合ったサロンを継続開催するとともに、参加者が増え充実した内容になるよう取り組む。
世代間交流できる事業の実施	子どもから高齢者まで参加できる事業を企画し、世代間交流を図る。学校と連携し、子どもたちの地域行事への参加を促す。
「三野福祉まつり」の継続と充実	地区住協活動の周知と世代間交流が図れる場として開催する。

重点事業 2

「援助が必要な方に対する支援」の推進

- 地域での課題
 - ・地域の見守り体制が十分に整備されていない
- 課題解決に向けての目標
 - ・見守り支援体制の充実
- 取組計画

取組項目	内容
地域情報の収集と共有	民生委員や自治会長、各種団体と要援護者についての情報共有を行うことで、困りごとの早期発見につなげる。
見守り活動の推進	各地域にあった見守り支援体制を構築し、継続実施していく。
総合事業との連携	三野町「元気づくり・地域づくり」協議会との連携により地域課題の検討を行うとともに、身近な地域で気軽に相談・援助ができる支援体制をつくる。

重点事業 3

「安全で安心豊かなまちづくり」の推進

- 地域での課題
 - ・隣近所で助け合えるか分からない
- 課題解決に向けての目標
 - ・困ったときに助け合える地域
- 取組計画

取組項目	内 容
隣近所の関係づくり	地域で助け合える関係を築けるよう、多世代で話し合える場や機会をつくる。
助け合える地域活動	消費者被害・交通安全・防犯パトロール等、子どもから高齢者まで助け合える活動を推進する。
防災研修・訓練等の実施	防災研修会や訓練等を実施することにより防災知識と意識を向上させ、災害時に備える。また、研修・訓練を通じて自主防災会、自治会との連携にも取り組む。